



2004 ▶ 2009

第3章 学習について

第1節

学習の実態

1. 家での学習時間
2. 学校外学習

第2節

学習に関する意識と実態

1. 得意なこと・苦手なこと
2. 勉強する理由
3. 勉強の取り組み
4. 進学希望

第1節

Benesse教育研究開発センター研究員 佐藤 昭宏

第2節

Benesse教育研究開発センター教育調査課長 邵 勤風

序章

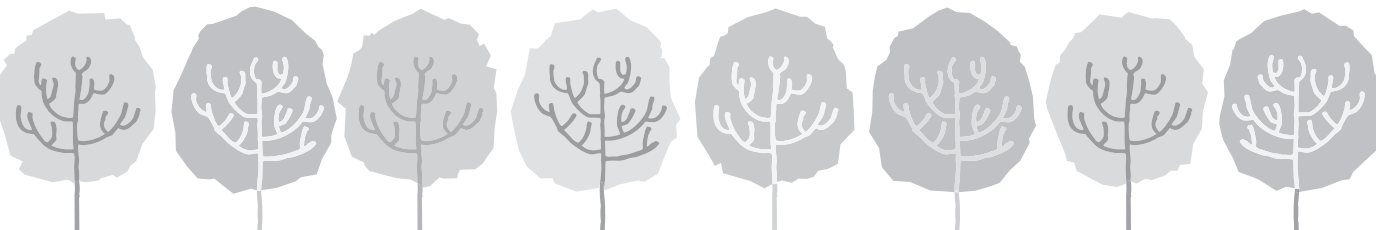
第1章

第2章

第3章

第4章

資料編



第1節 学習の実態

1. 家での学習時間

全体的な傾向としては、学校段階が上がるにつれて「ほとんどしない」層と「2時間+2時間30分」「3時間+3時間以上」の層が増加し、家庭学習時間の二極化が進む。また2004年との経年比較では平日・休日ともに、小学生で家庭学習の時間が増加し、中学生で減少している。高校生に大きな変化はない。また成績・高校偏差値層別では、高校生で変化がみられ、進学校の生徒で学習時間が減少し、中堅校や進路多様校で学習時間が増加している。

◆家庭学習の時間は学校段階が上がるにつれて二極化

子どもたちはどれくらい家庭で学習しているのだろうか。学習塾や予備校を除いた家庭での学習時間を示したものが図3-1-1である。「ほとんどしない」の比率をみたところ、小学生では5.4%であるのに対し、中学生では20.5%、高校生では25.1%と学校段階が上がるにつれて大幅に増加している。一方で、平日に「2時間+2時間30分」家庭学習をしていると回答した比率も小学生で8.1%だが、中学生で11.3%、高校生で19.1%と増加している。

家庭学習の時間は、学校段階が上がるにつれて二極化が進む傾向にあるようである。また休日の家庭学習時間についても確認したが、「2時間+2時間30分」「3時間+3時間以上」の層で比率が若干高くなってはいるものの、ほぼ平日と同様の傾向が確認された。

また、家庭学習時間（平均値）を経年比較でみたものが表3-1-1である。平日・休日ともに小学生で学習時間が増加し、中学生で減少している。高校生にほとんど変化はない。

次に、家庭学習の時間を成績・高校偏差値層別にみたものが図3-1-2である。小学生の学習時間は、すべての成績層において増加がみられた。「確かな学力」の向上を目的に、小学校の先生が宿題の提出や家庭学習の定着に地道に取り組んできたことが、結果にあらわれているのかもしれない。また学校外環境の変化として、少子化から、有名大学が学生確保を目的に小・中学校の経営に乗り出したことで、中学受験への注目が高まってきたことも影響しているかもしれない。

逆に中学生は、すべての成績段階において学習時間の低下がみられた。調査時期の変化の影響を考慮する必要はあるが、それらをふまえても成績中位層の学習時間の低下幅が大きくなっている点は目につく。

また高校生については、高校偏差値層ごとに学習時間をみた。進学校で学習時間の低下がみられる一方、中堅校や進路多様校では学習時間が増加しており、進学校の成績中位層・下位層と、中堅校の成績上位層・中位層では逆転現象が起こっている。

図3-1-1 家での学習時間（学校段階別）

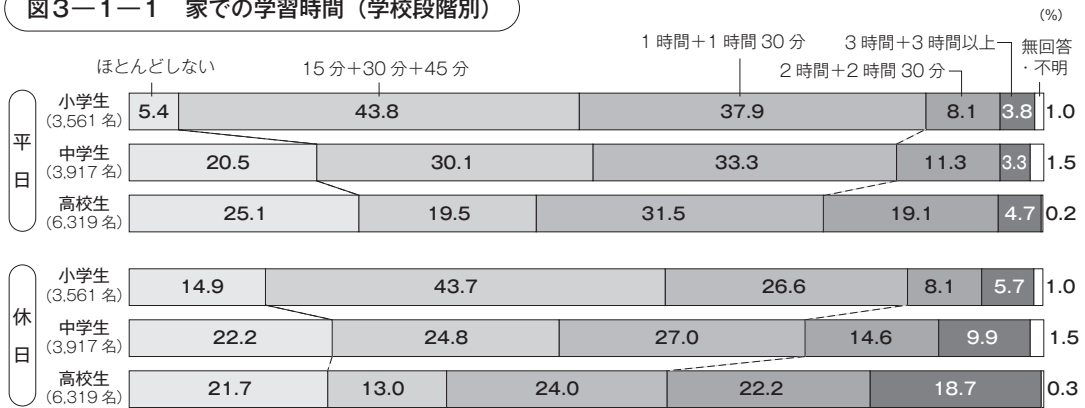


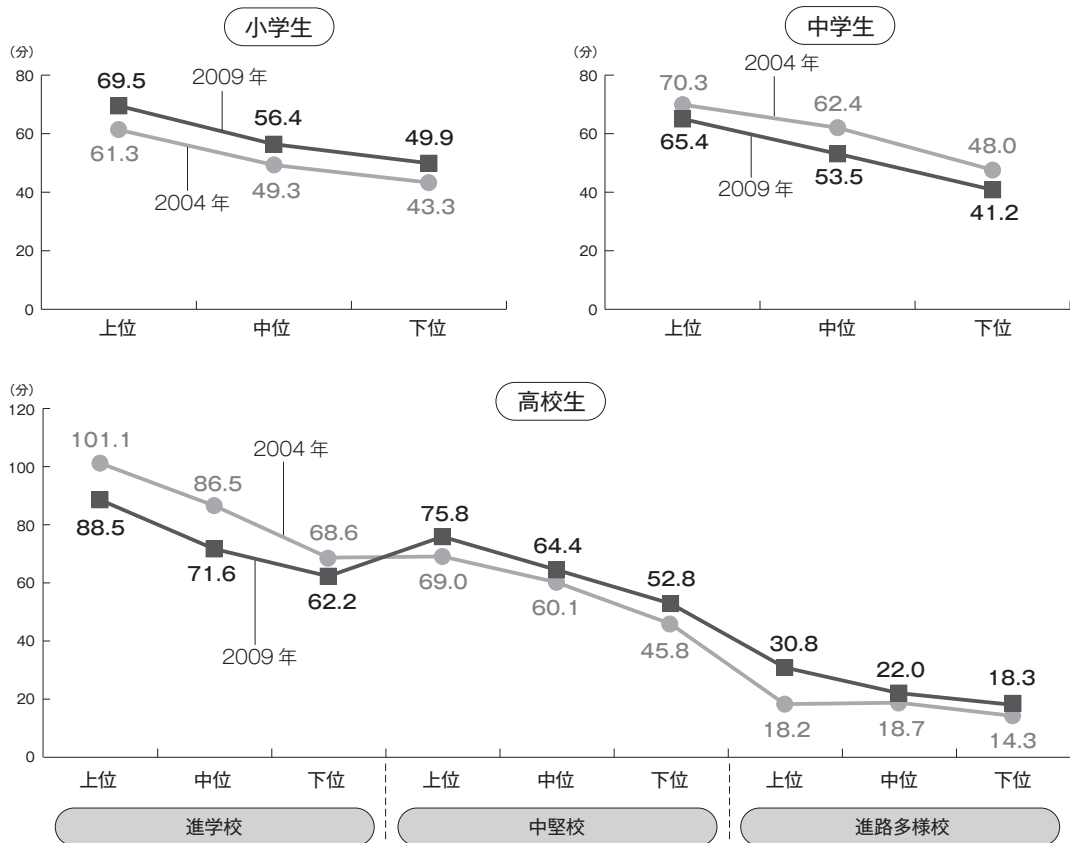
表3-1-1 家庭学習の平均時間（学校段階別、経年比較）

	2004年		2009年	
	小学生	中学生	小学生	中学生
平日	52.4	60.5	58.9	53.8
休日	48.1	75.1	54.0	65.2
高校生	61.5	61.6	85.0	85.7

注1) <>は5分以上差があることを示す。

注2) 平均時間は「ほとんどしない」を0分、「3時間以上」を210分のように置き換えて、無回答・不明を除いて算出した。

図3-1-2 平日の家庭学習時間（学校段階別・成績／高校偏差値層別、経年比較）



注) 平均時間は「ほとんどしない」を0分、「3時間以上」を210分のように置き換えて、無回答・不明を除いて算出した。

第3章 学習について

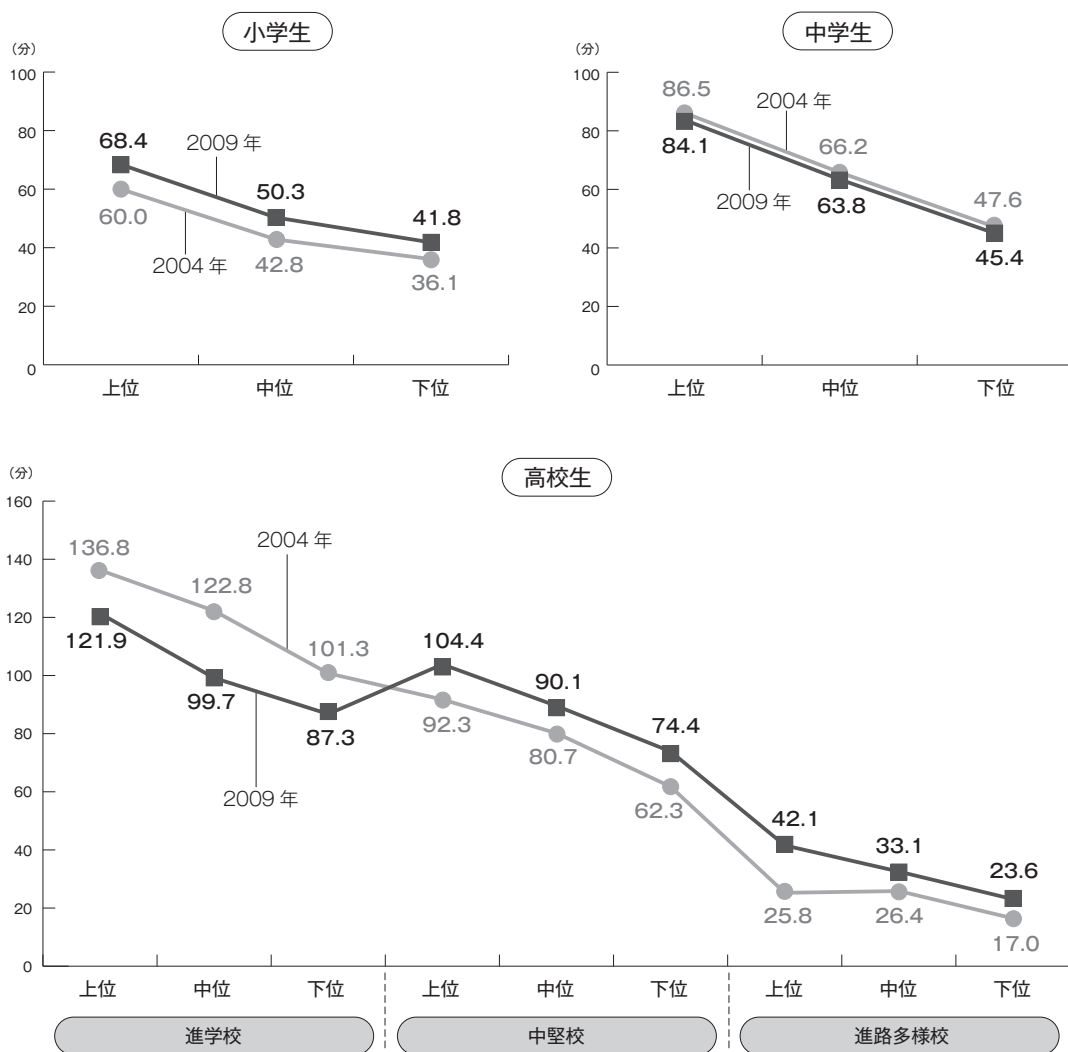
この現象について、数人の高校教師にヒアリングを行ったところ、進学校の生徒で家庭学習時間が低下していること、また中堅校や成績上位層で家庭学習時間が増加している傾向はあるが、結果はそれほど喜べるものではないといった声が大半であった。

現場の教師にとって、今回、中堅校や進路多様校で生徒の家庭学習時間が増加したのは「あくまで教師側が積極的に宿題や課題を与えて勉強に向かわせたからにすぎず、生徒自身が自主

的に勉強に取り組んだ結果かどうかはわからない」といった認識が強いようである。そして「進学校の生徒でも教師側が環境を設定しなければ勉強しなくなってきているのかもしれない」と危惧する声が聞かれた。

この平日の家庭学習時間の傾向は休日でも同様に確認された(図3-1-3)。単に家庭学習の時間を増加させるだけでなく、いかに主体的に子どもに学習に取り組ませるかが教師にとっての大きな課題のようである。

図3-1-3 休日の家庭学習時間(学校段階別・成績/高校偏差値層別、経年比較)



注) 平均時間は「ほとんどしない」を0分、「3時間以上」を210分のように置き換えて、無回答・不明を除いて算出した。

最後に家庭学習の時間を性別でみる（表3-1-2）。

全体的な傾向としてはすべての学校段階で、「ほとんどしない」の比率が男子に比べて女子で低く、「2時間+2時間30分」「3時間+3時間以上」の比率は男子に比べ女子で高くなってい

る。

また、性別による家庭学習時間の差は、学校段階が進むにつれて拡大している（「ほとんどしない」の比率：小学生男子6.2%>小学生女子4.5%、中学生男子22.5%>中学生女子18.5%、高校生男子29.0%>高校生女子20.9%）。

表3-1-2 家庭学習時間（学校段階別・性別）

(%)

		小学生		中学生		高校生	
		男子 (1,814名)	女子 (1,745名)	男子 (2,012名)	女子 (1,896名)	男子 (3,306名)	女子 (3,005名)
平日の家庭 学習時間	ほとんどしない	6.2	4.5	22.5	18.5	29.0	20.9
	15分+30分+45分	45.9	41.7	28.6	31.8	19.8	19.0
	1時間+1時間30分	35.6	40.3	32.2	34.4	30.8	32.1
	2時間+2時間30分	7.4	8.8	11.5	11.1	16.2	22.3
	3時間+3時間以上	3.6	3.9	3.2	3.3	3.9	5.6
	無回答・不明	1.2	0.8	2.0	0.9	0.3	0.1
休日の家庭 学習時間	ほとんどしない	17.0	12.7	23.9	20.5	25.5	17.6
	15分+30分+45分	43.7	43.8	23.9	25.7	13.7	12.1
	1時間+1時間30分	24.9	28.3	26.5	27.5	24.7	23.5
	2時間+2時間30分	7.8	8.4	14.1	15.2	19.9	24.8
	3時間+3時間以上	5.5	6.0	9.7	10.1	15.8	21.9
	無回答・不明	1.1	0.9	1.9	0.9	0.4	0.1

2. 学校外学習

学校外学習に関してたずねたところ、中学生で通塾や通信教育を受けている比率が高くなることがわかった。その比率には地域差があり、郡部<中都市<大都市の順で高くなっている。また成績・高校偏差値層別や母親の学歴別でも学校外学習の比率に差がみられた。子どもが学校外学習に取り組むかどうかは、生活する土地や親の教育観の影響を受けるようだ。

◆中学生で通塾や通信教育が増加

子どもたちは、学校以外ではどのような学習の取り組みを行っているのだろうか。学校外学習について調べたものが図3-1-4である。

小学生では、「学習塾や予備校に行っている」「通信教育を受けている」が約2割、「計算や書きとりなどのプリント教材教室に行っている」「英会話などの語学教室に行っている」が約1割である。他の学校段階との比較では、英会話や計算や書きとりなどのプリント教材教室の比率が高くなっているのが目立つ。学校外学習についてたずねた自由回答でも「そろばん」や「英語を話す教室」といった回答はある一定数存在しており、小学生の段階では塾通い以外に、興味関心や素養を高めるような習い事が評価されていることがわかる。

中学生では、「学習塾や予備校に行っている」が45.9%と中学生の約半数の比率を占め、つづいて「通信教育を受けている」が22.8%となっている。小学生から中学生にかけて学校外教育の分布が大きく変化していることがわかる。

高校生では、「学習塾や予備校に行っている」が19.4%、「通信教育を受けている」が17.0%と、それぞれ2割に満たない比率であるが、全体的に小・中学生に比べて、学校外学習に取り組んでいるものは少ない。高校では学校内での活動の幅や時間が拡大（例えば部活動や補習授業など）し、学校外の可処分時間が少ないことが影響しているのかもしれない。

◆学習塾や予備校に行く児童・生徒

次にどのような子どもが学習塾や予備校に通っているのか、地域別、成績・高校偏差値層別、母親の学歴別にみる。地域別にみたものが表3-1-3である。

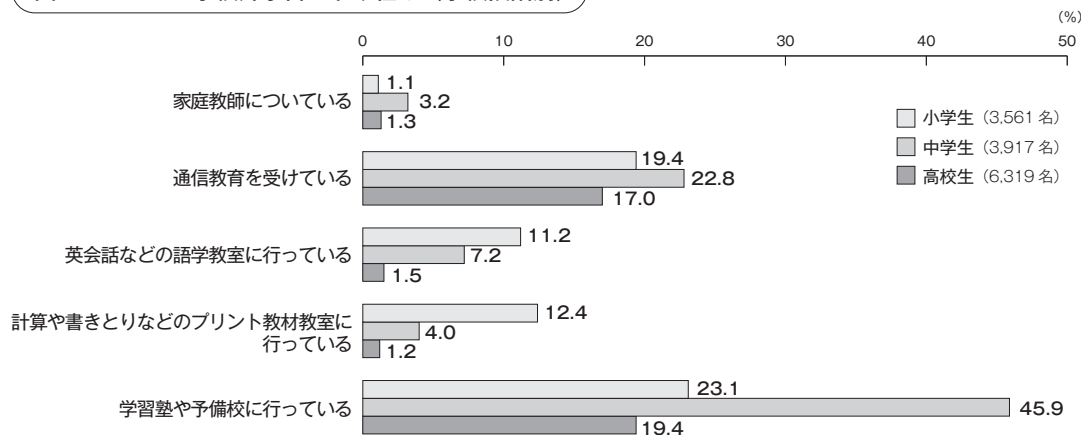
全体的に、大都市でもっとも通塾率が高くなり、中都市、郡部でやや低くなる傾向に変わりはしない。経年比較では小学生の大都市、中都市、中学生の郡部、高校生の中都市、郡部で通塾率が微増している。

次に成績・高校偏差値層別の結果（表3-1-4）であるが、小・中・高校生すべての学校段階において成績上位層（進学校）で通塾率が高く、中位層（中堅校）、下位層（進路多様校）の順に低下する傾向が確認された。このことは学習塾や予備校に通うことと成績や高校偏差値層間に関連があることがわかる。

最後に母親の学歴別であるが、2004年と比べ大卒で通塾率が微増（小学生2004年29.4%→2009年34.7%（以下同）、中学生53.4%→54.0%、高校生23.1%→25.5%）し、非大卒で微減（小学生21.8%→18.8%、中学生44.4%→42.1%、高校生15.2%→14.9%）している（表3-1-5）。この5年間で母親の学歴が通塾率に与える影響は強まっている可能性がある。ただし、2009年の調査では、勉強に関する親のかかわりについて、母親の学歴の影響が小さくなったとの分析結果もでており、単純に子どもの学習に与える母親の学歴の影響が強まったとはいえず、むしろ子

子どもの学習に対する親の関与といった面では母親の学歴の差は狭まったが、家庭の経済状況が影響する通塾については格差が広がったという見方ができるかもしれない。

図3-1-4 学校外学習の取り組み（学校段階別）



注) 複数回答。

表3-1-3 通塾率（学校段階別・地域別、経年比較）

	小学生			中学生			高校生		
	大都市	中都市	郡部	大都市	中都市	郡部	大都市	中都市	郡部
2004年	38.8	16.3	14.6	54.5	44.0	42.9	23.4	13.8	17.3
2009年	40.7	18.1	12.6	53.8	38.9	44.2	20.8	17.3	19.5

表3-1-4 通塾率（学校段階別・成績／高校偏差値層別、経年比較）

	小学生			中学生			高校生		
	上位	中位	下位	上位	中位	下位	進学校	中堅校	進路多様校
2004年	27.1	20.5	16.6	57.2	47.7	35.7	26.7	14.8	7.1
2009年	27.5	20.8	19.1	55.6	47.7	33.6	28.1	14.6	6.4

表3-1-5 通塾率（学校段階別・母親の学歴別、経年比較）

	小学生		中学生		高校生	
	大卒	非大卒	大卒	非大卒	大卒	非大卒
2004年	29.4	21.8	53.4	44.4	23.1	15.2
2009年	34.7	18.8	54.0	42.1	25.5	14.9

第3章 学習について

◆学習塾や予備校に行く日数・時間・種類

最後に「学習塾や予備校に行っている」と回答した子どもについて、「その学習塾（予備校）は、週に何日行っていますか」「その学習塾（予備校）では、1回に何時間くらい勉強していますか」「その学習塾（予備校）は、どのような塾ですか」とたずねたところ、表3-1-6の結果が得られた。

まず、通塾の日数であるが小・中・高校生を通じて、週に「2日」がもっとも多く、つづいて週に「1日」や「3日」が多い。1回あたりの学習時間は「1時間30分くらい+2時間くらい」がもっとも多く、中学生や高校生では「2時間30分くらい以上」も4割ほどいる。小学生では「1時間未満+1時間くらい」も多く、小学生と中・高校生でやや傾向が分かれる。

また学習塾の種類についてであるが、小学生までは「学校の勉強がわかるようになるための補習塾」の比率がもっとも高いが、中学生、高校生と学校段階が上がるにつれて「受験するための進学塾」の比率が高くなる。やはり学習の目的が受験になる生徒が多いからであろうか。

◆成績によって学習塾や予備校に通う目的に差

次に、学習塾や予備校に通う子どもの状況を成績・高校偏差値層別にみたものが表3-1-7である。

すべての学校段階を通じて、成績上位層（進学校）>成績中位層（中堅校）>成績下位層（進路多様校）の順で通塾頻度が高くなっており、中学生の成績上位層では週3日以上学習塾に通っている生徒が5割弱（47.8%）、また中位層（36.4%）や下位層（31.4%）でも3割以上もいる。

つづいて1回あたりの勉強時間であるが、小・中学生においては成績上位層ほど1回あたりの学習時間が長くなっているが、高校生では中堅校で「2時間30分くらい以上」の比率が進学校よりも高くなっている。学習塾の種類については成績上位層で、「受験するための進学塾」の比率が高くなっており、成績中位層、下位層では「学校の勉強がわかるようになるための補習塾」の比率が高い。成績・高校偏差値層によって学習塾や予備校に通う目的が異なっていることがわかる。

表3-1-6 学習塾や予備校について（学校段階別）

（%）

	小学生（822名）	中学生（1,799名）	高校生（1,227名）	
学習塾（予備校）は、週に何日行っていますか	1日	21.3	12.4	29.2
	2日	41.4	46.9	39.1
	3日	19.0	27.5	16.2
	4～7日（毎日）	13.2	12.8	15.1
	無回答・不明	5.2	0.4	0.4
学習塾（予備校）では、1回に何時間くらい勉強していますか	1時間未満+1時間くらい	26.4	4.3	6.9
	1時間30分くらい+2時間くらい	35.9	48.3	55.4
	2時間30分くらい以上	34.5	46.7	37.6
	無回答・不明	3.2	0.6	0.2
学習塾（予備校）は、どのような塾ですか	受験するための進学塾	37.3	48.6	56.3
	学校の勉強がわかるようになるための補習塾	47.8	42.8	38.1
	その他	10.7	4.2	3.2
	無回答・不明	4.1	4.4	2.4

注1) 通塾している人のみ対象。

注2) 「2時間30分くらい以上」は「2時間30分くらい」+「3時間くらい」+「3時間30分くらい」+「4時間くらい」+「4時間以上」。

表3-1-7 学習塾や予備校について（学校段階別・成績／高校偏差値層別）

（%）

	小学生			中学生			高校生			
	上位 (313名)	中位 (255名)	下位 (186名)	上位 (752名)	中位 (572名)	下位 (414名)	進学校 (836名)	中堅校 (315名)	進路 多様校 (76名)	
学習塾（予備校）は、週に何日行っていますか	1日	16.6	21.6	27.4	10.6	13.8	14.5	27.8	30.5	39.5
	2日	37.4	44.7	44.6	41.5	49.7	53.1	37.6	42.9	40.8
	3日	24.3	17.3	10.8	31.8	24.7	22.0	17.1	14.6	13.2
	4～7日（毎日）	18.5	12.5	5.9	16.0	11.7	9.4	17.5	10.8	6.6
	無回答・不明	3.2	3.9	11.3	0.1	0.2	1.0	0.1	1.3	0.0
学習塾（予備校）では、1回に何時間くらい勉強していますか	1時間未満+1時間くらい	15.7	27.8	43.0	2.4	3.3	8.9	6.6	7.0	10.5
	1時間30分くらい+2時間くらい	33.2	40.4	34.4	41.2	51.4	58.5	56.3	49.8	67.1
	2時間30分くらい以上	49.2	27.1	19.4	56.0	44.8	31.6	37.0	42.5	22.4
	無回答・不明	1.9	4.7	3.2	0.4	0.5	1.0	0.1	0.6	0.0
学習塾（予備校）は、どのような塾ですか	受験するための進学塾	56.5	31.8	11.3	61.2	44.6	30.9	66.6	36.5	25.0
	学校の勉強がわかるようになるための補習塾	32.3	53.7	69.9	31.9	46.2	58.9	28.7	55.9	68.4
	その他	10.5	10.2	10.8	3.9	4.4	4.3	3.0	3.2	5.3
	無回答・不明	0.6	4.3	8.1	3.1	4.9	5.8	1.7	4.4	1.3

注1) 通塾している人のみ対象。

注2) 「2時間30分くらい以上」は「2時間30分くらい」+「3時間くらい」+「3時間30分くらい」+「4時間くらい」+「4時間以上」。